


山行報告書

日時	2017年 3月25日(土)		天候	曇りのち晴れ
山名	基山～天拝山縦走			
CL	財津	参加者	阿部(SL)、前澤、福田、徳永、藤原、新野 (総勢7名)	
(コース)	JR原田駅(8:55、60m)～基山山頂(10:27 405m)～天拝湖(12:00 155m)～昼食後出発(12:40)～天拝山山頂(13:40 258m)～出発(14:05)～天神様の径～武蔵寺(14:27 100m)～博多湯～(打ち上げ、丸秀鮮魚店)～JR二日市駅(行動距離約14km)			
(コメント)	<p>原田駅出発の頃は曇り空だったが、基山山頂を過ぎる頃から、陽が射してきた。基山は低山ではあるが、360度の眺望が堪能できるのでつい長居をしてしまう。この日もオバ様方はなかなか動き出そうとはしなかった(気持ちはわかる)。</p> <p>山頂から天拝湖へ向かう途中は、白梅、紅梅、緋寒桜、桃の花、木瓜の花などが咲き乱れ、目を楽ませてくれた。林道をクロスして樹林帯を下っていくと、集落が見えてくるが、そこでルートが金網に囲まれた袋小路になっているので一瞬ぎよっとする。よく見ると二個のカラビナで留めてあるだけなので、開けてから掛けなおせばよいのだが、下見に来た時は、別の道があるのかと、かなり後戻りしてしまった。天拝山の方から来ると、格子扉に小さく開放厳禁と書いてあるので多少わかりやすいのだが、それでも、僕が通過してカラビナ掛けた後、逆方向から来た人が途方に暮れていた。すぐ教えてあげたけど、こういう時、日本人って遠慮深いんだよね。人の敷地でも我が物顔で侵入してくる中国人観光客の厚かましさが欲しい!(いや、そこまで文化水準を落としたい?!?)今回は、下見の甲斐あり、難なく通過! 備えあれば憂いなし!(あ、これって書経が出典だわ! 今の中国人のマナーはともかく、中国の文化もすごいとあるのは認めよう。)</p> <p>一部アスファルトの道路を歩くのが、この縦走路の唯一の難点なのだが、咲き乱れる花は、その退屈さを補って余りあるこの山行のMVPであった(写真参照)。</p> <p>天拝湖畔での昼食時間は、麗らかな春の陽射しに包まれていたこともあり、オバ様方によるサニーの「皆様のお墨付き(カップヌードルやスープ等々)」自慢で和やかに過ぎて行った。</p> <p>天拝湖から天拝山への径路は基山よりさらに低い山とはいえ、アップダウンがあり結構きつい。その分天拝山頂に着いた時、目の前に広がる宝満三郡の山並みは雄大さを増すように感じた。下山は天神様の径の方が膝にやさしいと思う。</p> <p>想定時間より30分早く下山した。健脚グループだったのかなと思っていたら、メンバーから、「財津さん今日は早歩きだったね。」と…。遅くなつてはいけないと思うあまり、ついつい急ぎ足になっていたのかもしれない。初リーダーでカミ過ぎたかな?。</p> <p>一日曇りの予報が、行程の大半を暖かい陽射しの中で進めたのはやはりパーバリーパンツのお蔭に違いない! この日はピンクだったが、Mさんのチェックのシャツとまるでベアルック(写真確認の事。ただし、さすがにパンツは出すわけにはいかないので、Mさんのシャツから想像して下さいませ!)であつたために威力を発揮したようだ。</p> <p>博多湯の後、JR二日市の近くの丸秀鮮魚店で、新鮮な魚介と創作料理を肴に、ビールや酒やワインで楽しく酔っぱらった。楽しい一日を共有した参加メンバーに感謝。</p> <p style="text-align: right;">(文責:財津)</p>			
				
	基山下山後、天拝湖に向かう途中		笑顔いっぱい天拝山頂	
費用概算	(交通費/人) 行き:各自JR原田までの運賃、帰り:各自JR二日市からの運賃 (その他:打ち上げ費用5000円/人)			